

高知県感染症発生動向調査（月報）

2024年4月

高知県感染症情報センター
高知県衛生環境研究所
TEL:088-821-4961 FAX:088-821-4696

全国情報

第14週(4月1日～)から第17週(～4月28日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における上位6疾患の合計は65.38で3月の122.37と比べて減少した。2023年6月～12月は過去10年間で最多の数字を記録していたが、年が明けて4月も10年間で最多となり、感染症の増加は持続している。

新型コロナウイルス感染症が定点報告(5類)疾患となって1年が経とうとしている。全国定点報告数を図1に示す。2023年8月をピークとする第9波、2024年2月がピークの第10波の後に、流行は落ち着いてはいるが終息することなく、高齢者の死亡数も蓄積されている。

インフルエンザは2022/23の流行が収まりきらない9月から、2023/24の流行が始まった。昨年11月に加えて今年の第6週と第11週にピークをつくり、波打ちながら減少している。この間に3つのウイルス株(AH1pdm09、AH3 NT、B/Victoria)が流行した。長かった流行はようやく終息に向かっているようだ。かわってRSウイルスの流行が始まった。

1位は感染性胃腸炎で16.29(3月3位19.32)と減少した。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で15.12(同4位16.13)と横ばいだった。3位は新型コロナウイルス感染症で14.83(同2位22.99)、4位はインフルエンザで10.71(同1位58.66)といずれも減少した。5位はRSウイルス感染症で5.92(同6位2.23)と増加した。6位は咽頭結膜熱で2.51(同5位3.04)と減少した。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	14週	15週	16週	17週	計
1	感染性胃腸炎		3.64	3.86	4.19	4.60	16.29
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3.06	3.32	4.08	4.66	15.12
3	新型コロナウイルス感染症		4.26	3.71	3.64	3.22	14.83
4	インフルエンザ		5.10	2.69	1.85	1.07	10.71
5	RSウイルス感染症		1.01	1.42	1.76	1.73	5.92
6	咽頭結膜熱		0.57	0.56	0.68	0.70	2.51

県内情報

1. 全国との対比(定点当たり報告数)

上位6疾患の報告数の合計は46.48で3月の125.69と比べると減少し、全国よりも少なかった(表2)。高知県における4月の上位6疾患は次のとおりである。

1位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で11.64(3月3位16.89)、2位は新型コロナウイルス感染症で10.86(同2位20.45)といずれも減少し全国よりも少なかった。3位はインフルエンザで9.66(同1位71.38)と減少し全国と同等だった。4位は感染性胃腸炎で8.88(同4位13.91)と減少し全国よりも少なかった。5位はRSウイルス感染症で2.76(同16位0.08)と増加したが全国よりも少なかった。6位は手足口病で2.68(同11位0.28)と増加し全国よりも多かった。

表2 各週定点当たり報告数(高知県)

No	疾病名	週	14週	15週	16週	17週	計
1	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.44	2.68	3.36	3.16	11.64
2	新型コロナウイルス感染症		2.82	2.89	2.70	2.45	10.86
3	インフルエンザ		5.91	2.23	0.82	0.70	9.66
4	感染性胃腸炎		2.52	2.24	1.76	2.36	8.88
5	RSウイルス感染症		0.08	0.64	0.56	1.48	2.76
6	手足口病		0.44	0.48	0.88	0.88	2.68

図1 全国新型コロナウイルス感染症定点当たり報告数推移

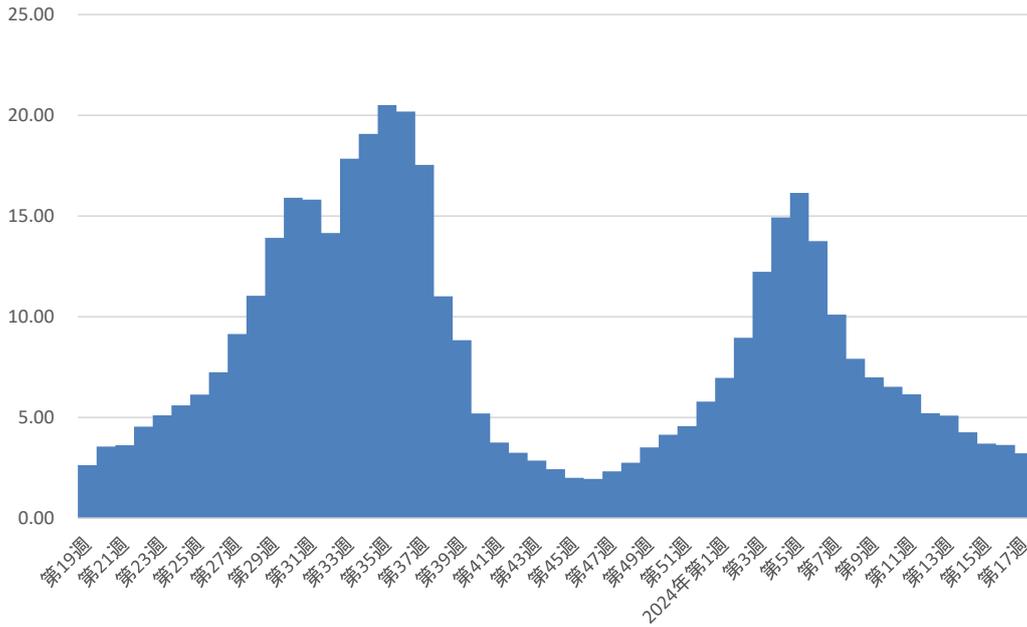


図2 高知県での新型コロナウイルス感染症 定点報告数(定点当たり)

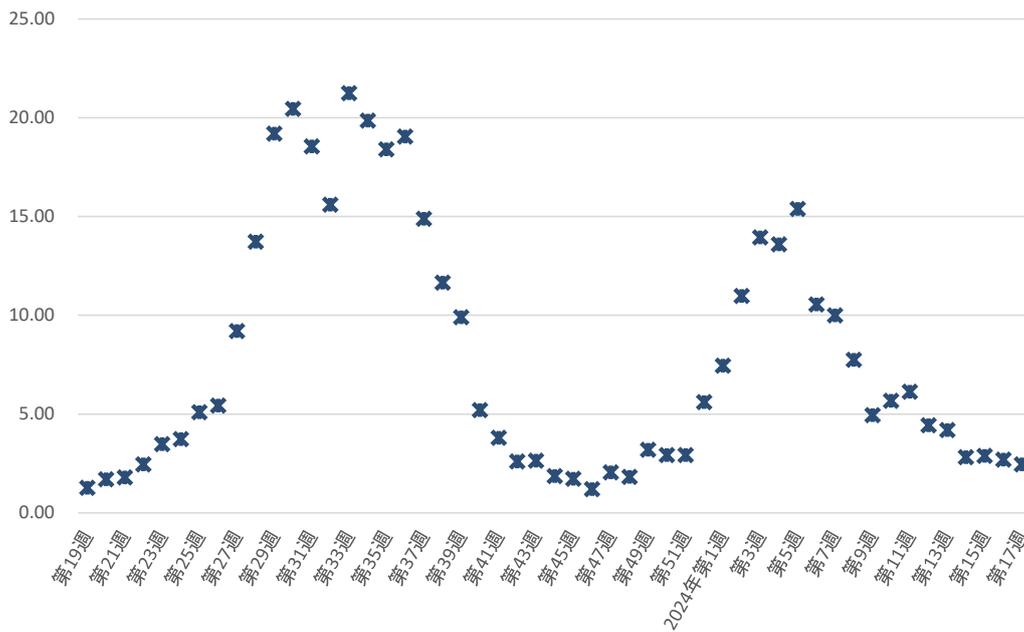


表3 高知県で検出された新型コロナウイルスの変異株

年月	オミクロン株																							XBC系統	CX系統					
	BA. 2系統群											XBB系統																		
	BA. 2系統					EG. 1	EG. 5	EU. 1	FE. 1	FL. 1	FL. 1 0	FL. 3	FL. 4	FY. 2	FY. 3	FY. 5	FY. 6	GE. 1	GJ. 1	GK. 1	HF. 1	HH. 1	HK. 3			HV. 1	XBB. 1	XBB. 2		
2023 5	1																2													
6	0					1											3													
7	0					1											4		1											
8	6					2											1		3		1		9		32					
9	5					2											1		1		1		1		2		25		3	
10	1					1											2		1		1		1		2		9			
11	6					1											1		1		1		1		2		2			
12	12					1											1		1		1		1		2		1			
2024 1	25					2											5		2		1		1		2		9			
2	37					2											1		1		1		1		2		4			
3	12					1											1		1		1		1		2		1			
4	5					1											1		1		1		1		2		0			

2. 全体の傾向

麻疹、風しんの報告無し。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 425名 (3月 3, 141名)。2022/23シーズンは3年ぶりの流行だったが小規模な流行だった。終息しないまま2023年9月に流行が再開した。その後だらだらと流行が続き3つのウイルス株が相次いで流行し、2023年9月～2024年4月の間に実に22, 952名が定点報告され、過去10年で最大の流行となった。

県下全域から報告があり、幡多、須崎、中央東でとくに多かった。流行株はAH3 NT、AH1 pdm09、B/Victoriaの3種類である。2023年7月までに検出された35件はすべてAH3 NTで、9月5件、10月3件、11月7件、12月6件、1月3件、2月に1件 (計25件) が検出された。AH1 pdm09は、8月と9月に各1件、10月7件、11月と12月は各8件、1月1件 (計26件) と拮抗した。加えてB/Victoriaが10月に1件、1月～3月に各3件、4月に7件 (計17件) 検出された。

2) 新型コロナウイルス感染症

報告数 478名 (3月 900名)。図2は2023年19週 (5月) 以降の県下定点報告数を集計したものである。2023年夏に第9波、2024年の第5週をピークとする第10波をみとめた。

県下全域から報告があり、中央西、高知市、中央東、須崎、安芸、幡多の順に多く報告された。

高知県におけるウイルス株の解析結果を表3に示す。すべてオミクロン株で、その系統群、系統、亜系統が詳細に検討されている。10月以降はすべてBA. 2系統群に分類されるウイルスである。1月～4月の検出件数は、BA. 2系統の亜系統BA. 2がそれぞれ25件、37件、12件、5件と最多である。米国、日本首都圏で流行したJN. 1は、12月1件、1月に2件検出されたが、2月以降は0件である。

3) 咽頭結膜熱

報告数 28名 (3月 36名)。2023年10月～先月は、同時期として過去10年間で最多の報告数が続いた。2023年の報告数は合計980名で、過去10年で最多であった。須崎、幡多、中央東、高知市から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

4) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 291名 (3月 435名)。2023年10月以降は、多い報告数が続いている。県下全域から報告があり、須崎、高知市、幡多で特に多かった。細菌は*Streptococcus pyogenes* Untypableが2月と3月に各1件、同T1が3月に1件検出されている。県下で古典的合併症であるリウマチ熱発生も報告された。加えて、全国的に劇症型A群溶血性レンサ球菌感染症も多発しており、第15週までに全国から計684名 (高知県から3名) が報告されている。

5) 感染性胃腸炎

報告数 222名 (3月 359名)。新型コロナウイルス感染症流行が始まった2020年以降は少ない数字で推移している。県下全域から報告があり、高知市、須崎、中央東が特に多かった。今年になってNorovirus GII NTが6件、GI NTが4件検出されているが、4月はその他の診断名の者からNorovirus GII NTが1件検出されている。

6) 水痘

報告数 18名 (3月 15名)。ワクチン定期化の効果で少ない数で推移している。中央東から11名、高知市と幡多から各3名、安芸から1名が報告された。

7) 手足口病

報告数 67名 (3月 7名)。2023年の流行は7月に始まりだらだらと続いていたが、中規模以下の流行であった。4月にまとまった数が報告され、季節性の流行が始まった。須崎、中央東、高知市、中央西から表記の順に多く報告された。Coxsackievirus A6が5件検出されており流行株である。

8) 伝染性紅斑

報告数 2名 (3月 4名)。須崎と高知市で各1名が報告された。2020年9月以降は一桁の報告数が続いている。肝機能異常を呈した2歳女児と高熱を伴う14歳男子からhuman parvovirus B19が検出されている。県下でこのウイルスが検出されたのは、2020年1月以来で4年3か月ぶりである。

9) 突発性発疹

報告数 18名 (3月 23名)。想定内の推移である。

10) ヘルパンギーナ

報告数 9名 (3月 14名)。2022年は8月から流行が始まり、過去10年間で最小の流行だった。一方、2023年は3月からの流行で、例年よりも早く始まって長く流行が続き、過去10年で最大の流行となった。

中央西、中央東、高知市の順に多く報告された。2023年の流行ではCoxsackievirus A10と同A2が各2件、同A6が1件検出され、複数の型のウイルスが流行した。本年になってウイルスは検出されていない。

11) 流行性耳下腺炎

報告数 0名 (3月 2名)。2020年5月以降は一桁の少ない数字で推移している。

12) RSウイルス感染症

報告数 69名 (3月 2名)。2021年夏は空前絶後の大流行だった。2022年は7月に流行が始まり10月がピークとなった。2023年は8月がピークだった。夏季に流行するのは3年連続だったが、今年も夏の流行となりそうである。中央西、高知市、須崎、中央東の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

13) 流行性角結膜炎

報告数 0名 (3月 5名)。2019年以降は一桁の報告数で推移している。

14) 細菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 1名 (3月 3名)。高知市から70歳以上の高齢者が報告された。2017年以降は年間一桁の報告数で推移しているが、2024年はすでに5人が報告された。

15) 無菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (3月 1名)。従来は年間20-30名台の報告数で推移していたが、2017年以降は一桁/年で推移している。

16) マイコプラズマ肺炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 3名 (3月 2名)。中央西～高幡地域で細菌抗原検査もしくはペア血清を用いた特異的抗体上昇で確定診断されたマイコプラズマ肺炎が多数経験され、施設内流行も報告されている。定点施設以外であるので報告数には反映されていないが、確かな流行が探知されている。県下での数年ぶりの流行が危惧される。

基幹定点の月報疾患

17) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 21名 (3月 35名)。想定内の推移である。高知市、中央東、幡多から報告された。

18) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 1名 (3月 0名)。高知市から70歳以上の高齢者が報告され、本年初例となった。2015年以降は、年間0~2名の報告にとどまっている。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

【参考】

全数報告

年別全数報告数（令和6年4月）

類型	病名	2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024														総計	
		2	結核	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65		73
	計	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	20	1,578
3	コレラ	1															1
	細菌性赤痢							2									2
	腸管出血性大腸菌感染症	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3	7		93
	腸チフス						1				1						2
	パラチフス																0
	計	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3	7		98
4	A型肝炎	3					3	1			2						10
	E型肝炎	1		1							2	1		1			6
	オウム病								1								1
	Q熱																0
	サル痘														1		1
	重症熱性血小板減少症候群				3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	10	2	73
	つつが虫病	2	5	8	3	3		4	11	2	3	3	1	5	11	1	62
	デング熱	1			3	2	1				2						9
	日本紅斑熱	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12	16		147
	日本脳炎	1															1
	マラリア		1								1					1	3
	レジオネラ症	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8	7	1	85
	レプトスピラ症		4	2	1				1						1		9
	計	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	47	5	407
5	アメーバ赤痢	2	2	3		7	3	2	5	3	3		1	5	1		37
	ウイルス性肝炎	3		3		1			2	1	1	2	2	2	1		18
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					7	19	21	22	21	20	10	5	12	9	3	149
	急性弛緩性麻痺									1	2				1		4
	急性脳炎	1	3	1		1	1	1	1		2	1	1	2			15
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3				2			2	1	1	3	1	1	1		14
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	3		1		3	5	6	2	2	5	4	1	3	36
	後天性免疫不全症候群	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	6		6	2	1	63
	ジアルジア症		1	1						1							3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	5	3	4	7	3	1	1	3	7	4	39
	侵襲性肺炎球菌感染症				1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	12	9	134
	水痘（入院例に限る）						2	1	1	3		3	3	3	1		17
	髄膜炎菌性髄膜炎																0
	梅毒	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	62	11	368
	播種性クリプトコックス症								1	3	5				4	3	16
	破傷風	1	1	1		4	3	3	1		2	3	1	3	1		24
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1		1		1						3
	百日咳										173	172	35	3	9	7	399
	風しん			4	9	1					3						17
麻疹																0	
	計	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	112	127	111	109	31	1,356
動物	鳥インフルエンザ																1
	計																1
	総計	201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	214	221	221	216	56	3,440

類型	病名	報告月				総計
		1月	2月	3月	4月	
2	結核	3	6	7	4	20
4	A型肝炎				1	1
	重症熱性血小板減少症候群		1	1		2
	つつが虫病	1				1
	レジオネラ症		1			1
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	1		3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1	1	3
	後天性免疫不全症候群			1		1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	1	2	4
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1	3	1	9
	梅毒	4	2	3	2	11
総計		14	13	18	11	56

高知県感染症情報 月報(61定点医療機関)

2024年

4月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・COVID-19	インフルエンザ	12	114	129	31	46	93	425	3,141	452
	新型コロナウイルス感染症	40	112	183	63	44	36	478	900	
小児科	咽頭結膜熱		6	9		7	6	28	36	9
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	11	165	11	40	61	291	435	20
	感染性胃腸炎	8	46	123	4	19	22	222	359	200
	水痘	1	11	3			3	18	15	7
	手足口病		31	22	1	13		67	7	19
	伝染性紅斑			1		1		2	4	3
	突発性発疹		4	8		4	2	18	23	20
	ヘルパンギーナ		3	4	2			9	14	148
	流行性耳下腺炎								2	1
	RSウイルス感染症		9	42	11	7		69	2	52
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎								5	1
STD	性器クラミジア感染症			6			1	7	5	8
	性器ヘルペスウイルス感染症			1			1	2	1	
	尖圭コンジローマ						1	1	2	1
	淋菌感染症								3	
基幹	細菌性髄膜炎			1				1	3	1
	無菌性髄膜炎								1	
	マイコプラズマ肺炎			3				3	2	7
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)			1				1	2	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2	17			2	21	35	13
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1				1		
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		64	349	719	123	181	228	1,664	4,997	962
前月		165	947	1,648	402	412	1,423			
前年同月		23	109	381	74	44	331			
小児科定点数		2	6	9	2	2	5			

高知県感染症情報 月報(61定点医療機関)

2024年

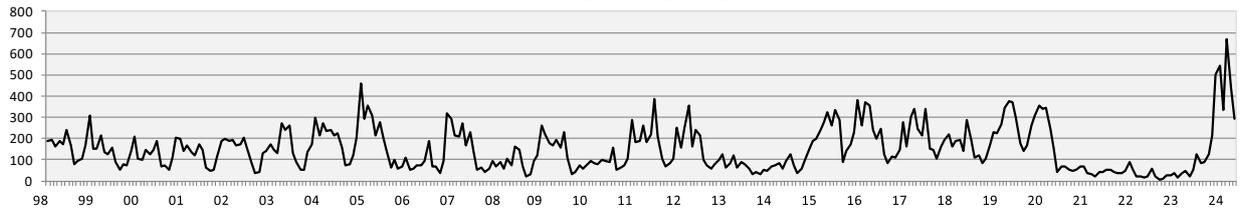
4月

定点当たりの人数

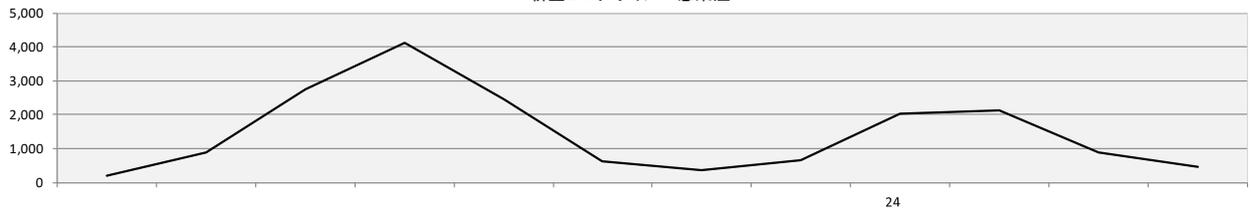
定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・COVID-19	インフルエンザ	3.00	11.40	9.21	7.75	11.50	11.63	9.66	71.38	10.04
	新型コロナウイルス感染症	10.00	11.20	13.08	15.75	11.00	4.51	10.86	20.45	
小児科	咽頭結膜熱		1.01	1.00		3.50	1.50	1.12	1.39	0.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	1.84	18.33	5.50	20.00	15.25	11.64	16.89	0.75
	感染性胃腸炎	4.00	7.66	13.67	2.00	9.50	5.50	8.88	13.91	7.41
	水痘	0.50	1.84	0.33			0.75	0.72	0.58	0.26
	手足口病		5.17	2.45	0.50	6.50		2.68	0.28	0.71
	伝染性紅斑			0.11		0.50		0.08	0.16	0.11
	突発性発疹		0.67	0.88		2.00	0.50	0.72	0.89	0.74
	ヘルパンギーナ		0.50	0.44	1.00			0.36	0.55	5.49
	流行性耳下腺炎								0.08	0.04
	RSウイルス感染症		1.50	4.67	5.50	3.50		2.76	0.08	1.92
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎								1.67	0.33
STD	性器クラミジア感染症			3.00			0.50	1.17	0.83	1.33
	性器ヘルペスウイルス感染症			0.50			0.50	0.33	0.17	
	尖圭コンジローマ						0.50	0.17	0.33	0.17
	淋菌感染症								0.50	
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.13	0.39	0.13
	無菌性髄膜炎								0.13	
	マイコプラズマ肺炎			0.60				0.38	0.26	0.89
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)			0.20				0.13	0.26	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2.00	3.40			2.00	2.63	4.38	1.63
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			0.20				0.13		
薬剤耐性緑膿菌感染症										
小児科定点分計		19.00	42.79	64.17	38.00	68.00	39.64	49.48	126.64	27.80
前月		45.25	103.28	130.35	114.00	132.25	191.88			
前年同月		10.25	13.59	34.55	29.25	18.75	46.96			

注目される疾患別月別推移

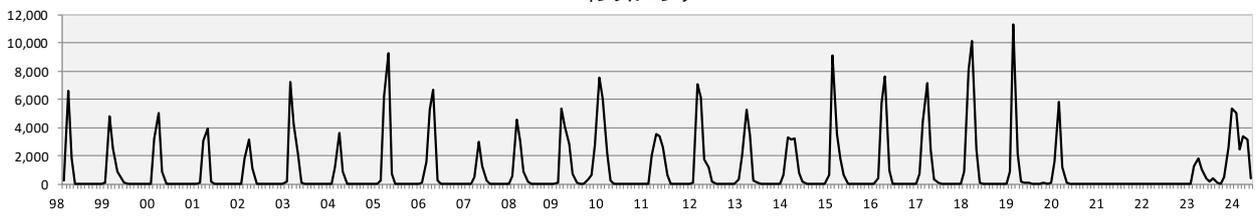
A群溶血性レンサ球菌感染症



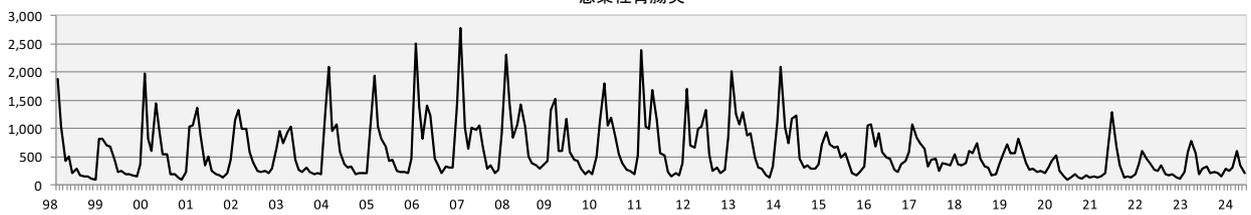
新型コロナウイルス感染症



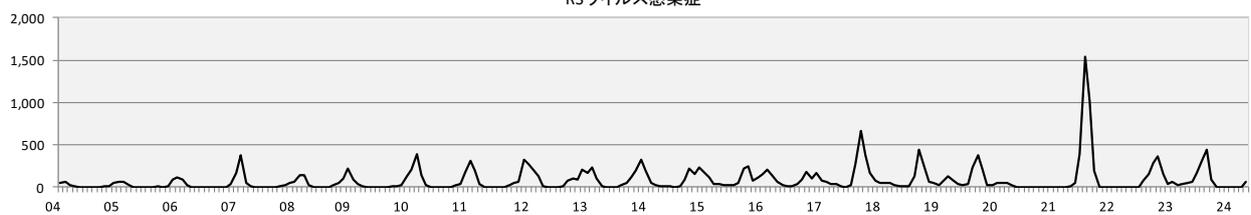
インフルエンザ



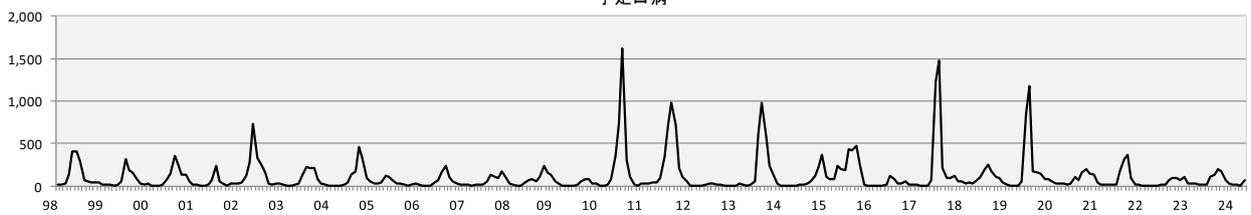
感染性胃腸炎



RSウイルス感染症



手足口病



高知県感染症情報（月報）
2024年4月

検査情報

ウイルス，細菌の分離状況

令和6年4月はウイルス50件、細菌4件の搬入があり、そのうちウイルス28件の病原体を検出し、3月に搬入された検体から細菌1件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Coxsackievirus A6 5件、Cytomegalovirus 2件、Epstein-Barr virus 3件、Human herpes virus 6 2件、Human herpes virus 7 3件、human parvovirus B19 2件、Influenza virus B/Victoria 8件、Norovirus GII NT 1件、Parainfluenza virus 1 1件、Rhinovirus C42 1件、細菌の内訳は*Streptococcus pyogenes* Untypable 1件であった。

ウイルス，細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	2	女	-	肝機能,	ぬぐい液	3/26	human parvovirus B19
2	6	女	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39℃,	ぬぐい液	3/26	<i>Streptococcus pyogenes</i> Untypable
3	1	男	-	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	3/29	Parainfluenza virus 1
4	1	男	インフルエンザ	40℃,咳嗽,	ぬぐい液	3/29	Influenza virus B/Victoria
5	3	男	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	3/29	Influenza virus B/Victoria
6	15	男	-	38℃,	尿	4/2	Human herpes virus 6
7	4	男	インフルエンザ	38℃,	ぬぐい液	4/5	Influenza virus B/Victoria
8	13	女	インフルエンザ	39℃,咳嗽,関節痛,	ぬぐい液	4/5	Influenza virus B/Victoria
9	14	男	インフルエンザ	40℃,	ぬぐい液	4/6	Influenza virus B/Victoria
10	7か月	男	-		ふん便	4/9	Norovirus GII NT
11	1	男	手足口病	41℃,発疹,	ぬぐい液	4/9	Coxsackievirus A6
12	1	男	手足口病	41℃,発疹,	ぬぐい液	4/9	Cytomegalovirus
13	3	男	手足口病	39℃,発疹,	ぬぐい液	4/11	Coxsackievirus A6
14	14	男	-	40℃,	ぬぐい液	4/12	human parvovirus B19 Epstein-Barr virus
15	4	男	不明発疹症	39℃,発疹,	ぬぐい液	4/13	Human herpes virus 7
16	8	女	インフルエンザ	40℃,関節痛,	ぬぐい液	4/13	Influenza virus B/Victoria
17	8	男	インフルエンザ,A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	4/15	Influenza virus B/Victoria
18	1	女	手足口病	39℃,発疹,	ぬぐい液	4/15	Coxsackievirus A6
19	2	男	手足口病	40℃,発疹,	ぬぐい液	4/15	Coxsackievirus A6 Human herpes virus 6
20	1	女	手足口病	40℃,発疹,	ぬぐい液	4/15	Coxsackievirus A6 Human herpes virus 7 Rhinovirus C42
21	6	男	EBウイルス疑い	38℃,	ぬぐい液	4/16	Epstein-Barr virus
22	1	男	不明発疹症	発疹,	ぬぐい液	4/16	Cytomegalovirus Epstein-Barr virus Human herpes virus 7
23	8	女	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	4/23	Influenza virus B/Victoria

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2023年 総計	2024年				2024年 総計
			1月	2月	3月	4月	
A群溶血性レンサ球菌咽頭	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1				1		1
	<i>Streptococcus pyogenes</i> Untypable			1	1		2
	計	1	1	2			3
インフルエンザ	Influenza virus A H1pdm09	25	1				1
	Influenza virus A NT	1					
	Influenza virus A H3 NT	56	3	1			4
	Influenza virus B/Victoria	1	3	3	3	7	16
	Parainfluenza virus 3			1			1
	SARS-CoV-2		1	1			2
計	83	8	6	3	7	24	
感染性胃腸炎	Norovirus GI NT		1	2	1		4
	Norovirus GII NT	14	4		2		6
	Rotavirus group A G2				1		1
	Sapovirus genogroup unknown			1			1
	計	-	5	3	4		12
新型コロナウイルス感染症	SARS-CoV-2	143	42	45	25		112
	計	143	42	45	25		112
手足口病	Coxsackievirus A6	15				5	5
	Cytomegalovirus	1		1		1	2
	Enterovirus71	3		1			1
	Human herpes virus 6	2				1	1
	Human herpes virus 7	5				1	1
	RhinovirusC42					1	1
	Rhinovirus	7					
計	-		2		9	11	
伝染性紅斑	Epstein-Barr virus	1					
	Human herpes virus 6	1					
	Rhinovirus		1				1
	計	2	1				1
突発性発疹	Human herpes virus 7	1					
	計	1					
無菌性髄膜炎	Human herpes virus 6			1			1
	Human herpes virus 7	1					
	Norovirus GII NT			1			1
	計	1		2			2
RSウイルス感染症	Respiratory syncytial virus B	1					
	計	1					
その他	Cytomegalovirus	5			1	1	2
	Echovirus 11	1					
	Enterovirus71		1				1
	Epstein-Barr virus	1	1	1	1	3	6
	Human herpes virus 6	9			2	1	3
	Human herpes virus 7	12		1		2	3
	Human metapneumovirus	1			2		2
	human parvovirus B19					2	2
	Influenza virus A H3 NT	1					
	Influenza virus B/Victoria					1	1
	Norovirus GII NT	4				1	1
	Parainfluenza virus 1					1	1
	Rhinovirus	17			1		1
	Rotavirus group A G3	1					
計	-	2	2	7	12	23	
総計		398	58	61	41	28	188